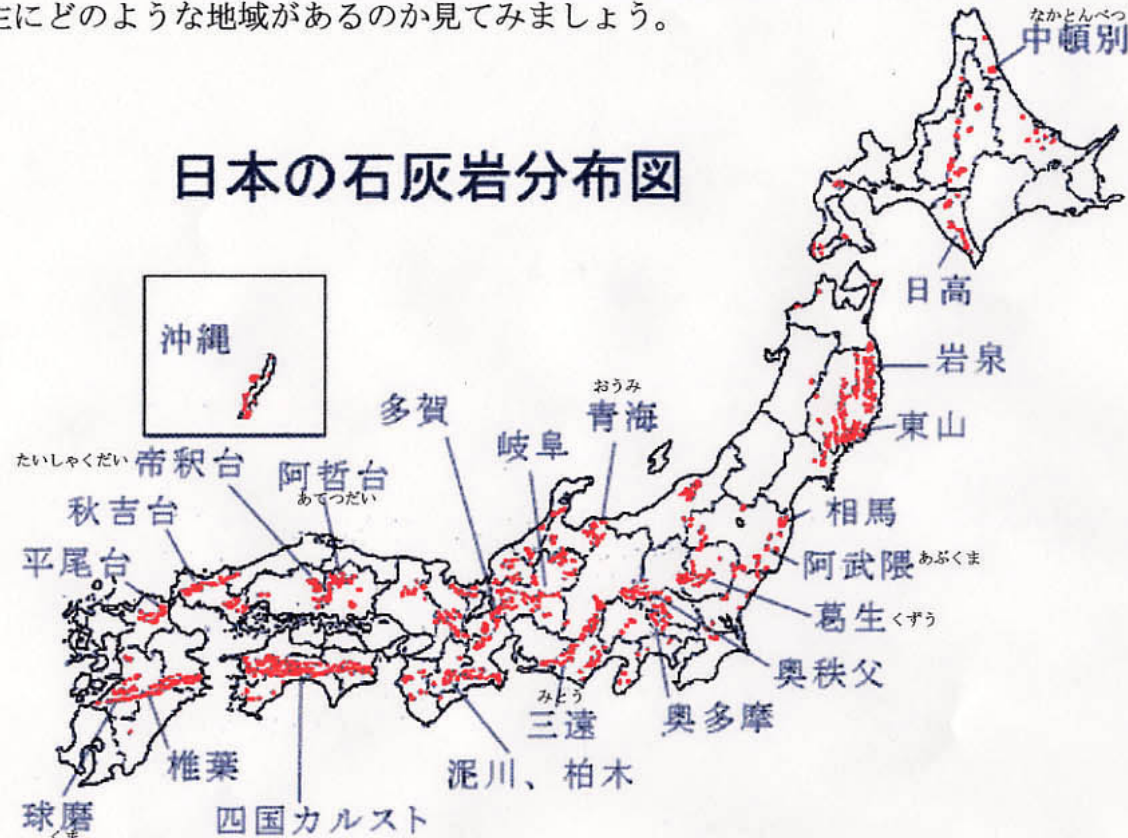


《日本のカルスト》

平尾台は九州最大のカルスト台地ですが、日本には他にも多くの地域に石灰岩が分布しています。主にどのような地域があるのか見てみましょう。

日本の石灰岩分布図



《カルストの種類》

1. 山岳カルスト

地殻変動が激しい、降水量が多いなどの理由から、ドリーネなどの地表地形があまり発達していないカルスト。涸れ沢や、石灰岩壁がよく見られる。日本の石灰岩帯の大半はこのタイプである。

2. カルスト台地

塊状の石灰岩台地でドリーネ、ウパーレ、カレンなどが発達している。代表的な地域は秋吉台や平尾台、阿哲台などがある。

3. 隆起珊瑚礁カルスト

新生代第四紀以降の新しい珊瑚礁が隆起して出来たカルスト。多孔質で柔らかいので、水に溶けやすい。このため洞窟が発達しやすいが、崩れやすくもある。沖縄などの南西諸島に分布している。

(<http://www.age.ne.jp/x/goto-s/limestone/distrib.html>参照)

《石灰石はどのように使われてきたか》

古くは古代エジプトのピラミッドや古代ギリシャ・ローマの神殿などの建造物に使われてきました。大量に使われるようになったのは産業革命以後で、セメント工業や鉄鋼業の発展と共に使用量が増大しました。第二次世界大戦以後の石油化学工業の発展に伴い、プラスチックの充填剤、ゴム製品の増量剤および加工助剤、塗料原料、農薬などへ用途が拡大して、現在に至っています。

(<http://www2s.biglobe.ne.jp/yappon/juutan1.html>参照)

☆イベント情報!

「アートフラワー講習会」

平成13年1月12日(金) 10:00～16:00

布切れと針金を使って平尾台の野の花を再現します。

平尾台グランドワークシンポジウムとして、2月に「野焼き見学会」3月には「合同ゴミレンジャー」を予定しています。

●自然観察のマナー

今度おとずれたときも、元気な平尾台に会う為にマナーを守りましょう。

1. ゴミは持ち帰りましょう。
2. 食べる為や鉢植えにするなど、少量でも植物採取をしないようにしましょう。
3. 道以外のところを踏み荒らしたり、車を取り入れたりしないようにしましょう。
4. 大きな音を立てて、動物を驚かさないようにしましょう。
5. 農作物などは荒らさないようにしましょう。

■「初日の出ハイキング」イベント報告■

平成13年1月1日(月)に新世紀の幕開けを平尾台で迎えよう!と銘打って「初日の出ハイキング」が開催されました。



午前5時に平尾台自然観察センターに集合。

30分ほどのレクチャーの後、午前6時に周防台に向け出発しました。あいにくの小雪のちらつく天気でしたが、頂上では晴れ間が出ることを期待し、夜明け前の暗闇道を懐中電灯を頼りに台上へと向かいました。午前7時に台上に到着。行橋市街、周防灘を一望できる景色に皆さん「登って来たかいがあった」とご満悦です。後は日の出を待つのみ。

午前7時17分平尾台の日の出の時間が

きましたが雲は晴れてくれませんでした。残念!

しかし、もう下山をしようとしていた時、わずかに雲間が明るくなりなんとか初日の出を少し拝むことが出来ました。

帰りは平尾台神社により初詣。「今年1年良い年でありますように・・・」午前9時解散。今年は残念でしたが、来年こそは初日の出が拝めることを願って、「参加者の皆さんお疲れ様でした!来年またお会いしましょう!」



今年もいろいろなイベントを企画しています。楽しみにしててください。

【平尾台気象マメ知識】

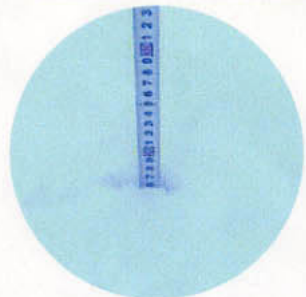
平尾台の天候は主に西風と東風によって影響を受けます。西風は石原町からの登山道を吹き上げ、大平山と馬ノ背台の間の吹上峠を通ります。東風は行橋平野からの風です。桶ヶ辻や周防台の急崖にさえぎられて、千仏谷や内の蔵などの谷を上ってきます。台地を吹き抜ける風の方向はススキやネザサが揺れるので感じ取ることが出来ます。

平尾台雪景色

1月13日から17日まで続いた寒波で、九州も久しぶりの大雪となりました。長崎では36年ぶりの大雪でした。北九州の中でもここ平尾台は平地より積雪も多く、登り口からはチェーン規制です。普段とはまた違った、雪の平尾台をご紹介します。



自然観察センターもすっかり雪で覆われました。慣れない雪かきが大変でした。



1月16日、積雪は16cm



平尾台の雪は15日から16日にかけてがピークでした。黒かった防火帯に雪が降り、黄色の草原に白い帯が出来、とてもきれいです。



広谷湿原です。木道にこんもり雪が積もっています。とてもきれいに積もっているので、足型をつけるのがもったいなく、そのままにして帰りました。

雪が降った時は路面が凍結して危ないよ。足元に十分気をつけてね！



《アニマルトラッキング》

茶ヶ床から広谷湿原に行く途中で動物の足跡を発見しました。キジ？ウサギ？それともタヌキ？皆で一緒に考えてみましょう。



☆イベント情報

「アートフラワー講習会」

平成13年2月2日（金） 10:00～16:00

布切れと針金を使って平尾台の野の花を再現します。

「野焼き見学会」～平尾台グランドワークシンポジウム～

平成13年2月18日（日）

毎年行われる野焼きが平尾台にとってどういう役割を果たしているのか。

「尻ふり祭」～小倉南区大字井手浦～

平成13年1月8日（月）午後1時ごろから、井手浦公民館（小倉南区大字井手浦）で無病息災、五穀豊穡を祈願し「尻ふり祭」が行われました。



この祭は、「昔、平尾台に大蛇がいて悪さをするので、神様が退治したところ、シッポが井手浦に落ちピンピン尻尾を振った。その年は豊作に恵まれた。」という言い伝えから始まったとされています。

この日もたくさんの人達でにぎわっていました。祭が始まると皆わらで作った大蛇の周りに集まり、神事を見守ります。歓声がわくのはやはり「尻振り」。

大きく振るほど豊作になるというので、皆が「もっと振れ！」と勢いよく掛け声をかけます。この後、神官が大蛇を3本の矢で射止め、太刀で3カ所を切るしぐさをし退治は終わります。終わると同時に皆で大蛇を引き倒し、わらやわらの中に入った干し柿を取り合います。この干し柿を食べると夏ばてしない、といわれています。こうして賑やかなうちに今年の祭りも幕を閉じました。



●その他近隣の主なお祭●

【小倉南区】

- 3/25 貫のお祓い
- 5/3 曾根開作神事、沼楽奉納
- 7/28 平尾台観光まつり
- 8/16 能行の盆踊り
- 9/15 合馬神楽
- 10/9 横代神楽
- 10/28 葛原新町楽
- 12/15 隠養のしびきせ祭

【苅田町】

- 4/15 等覚寺松会
(国の重要無形民俗文化財)
- 5/19.20 かんだ港まつり
- 10/7 苅田山笠

【行橋市】

- 2/18 松山子安観音大祭
- 5/3.4 下検地楽
- 5/21 百手祭
- 7/15 奉納連歌
- 7/15～8/3 今井の祇園祭

【平尾台マメ知識】

平尾台の台地は周囲が高く中央は低く、盆地状になっています。そのため、冬の冷気は平尾盆地に集まり、気温は-5℃より下がることもあります。

自然観察センター付近（標高約350m）では、ふもとに比べると平均2～4℃低いようです。

平尾台の春は 野焼きで始まる

2月18日（日）に平尾台の春の風物詩ともいえる野焼きが行われました。

今回は初めての試みとして「野焼き見学会」が行われました。センターの裏の高台に登り、皆思い思いにカメラの位置取りをします。

午前10時半、消防のサイレンを合図に大平山山頂付近より点火。徐々に火が広がっていきます。この日は曇天で、風があまりなかったこともあって、火の燃え広がりが遅かったようです。

しかし、少し風が吹くとパチパチと音をたてて火の手をあげます。12時には黄金色だった大平山は、黒地に白い石が点在する山に姿を変えました。こうしてみると、大平山にこんなにたくさんの石の羊がいたことが良くわかります。

午後からはセンターの周辺にも火が入りました。近くで見るとまた迫力が違います。燃えたネザサがカラスの羽のように空から降ってき



ます。最後は県道をはさんだ、すぐ前にあるドリーネです。上と下から火を入れます。20分程でここも黒く姿を変えてしまいました。300人以上の方々がかかわった1日掛りの野焼きも4時には終焉を迎えました。この黒い台地も5月には青々とした姿を見せてくれることでしょう。

◇鎮火祭◇

野焼きに先立ち2月11日（日）に鎮火祭が行われました。鎮火祭は昭和53年から野焼き（山火事）の無事や住民の安全を祈願して行われるようになったものです。



午前11時過ぎに神事が始まりました。太鼓（平尾台鎮火太鼓）や笛の音と共に神事が行われます。



午前11時半過ぎに神官と代表の方が火を消し止め神事は終わりました。

～平尾台グランドワーク～ 「野焼きシンポジウム」開催



午後よりセンターのレクチャールームで、「野焼きシンポジウム」が開催されました。皆でより良い平尾台にしようと、いろいろな意見が交わされました。

【平尾台を彩る花々】



オオイヌノフグリ（ごまのはぐさ科）

ヨーロッパに分布する多年草。日本では帰化植物として畑や道端に普通に見られる。地上にはって四方に広がり、長さ15～30cm。



カキドオシ（しそ科）

野原や道端にはえる。つる性の多年草。茎や葉に香気がある。名は蔓を伸ばして垣根を通り抜けるの意味。



ナズナ（あぶらな科）

郊外の道端、田圃、庭の隅等にはえる越年生草木。高さ約30cm。別名のペンペン草の意味は、果実の形が三味線のばちに似ていることから。



ホトケノザ（しそ科）

畑のあぜ道や道端にはえる1～2年草。高さ10～30cm。春の七草のホトケノザはきく科のタビラコのことであってこの植物ではない。

＜原色世界植物大図鑑（北隆館）参照＞

《平尾台マメ知識》

平尾台には変わった呼び名や地名があります。そのいくつかをご紹介します。

■羊群原（ようぐんばる）

丸みのある石灰岩がたくさん露出している姿が、草をはむ羊の群れのように見えることから。

■三笠台（みかさだい）

昭和22年、三笠宮殿下の御視察を記念して名づけられました。

■茶ヶ床（ちゃがとこ）

先に述べた視察の際、三笠宮殿下がここでお茶を飲まれたことで名づけられました。

バトロールだより

久しぶりに晴れた日、パトロールに出ると、銀色に変わったネザサで、大平山が輝いて見える。

もうすぐ野焼きだ。この美しい景色もそろそろ見納めか。

野焼きの後の大平山はどのような姿を見せてくれるのだろう。

☆イベント情報☆

●平尾台クリーン大作戦

私達の平尾台を私達の手できれいにしましょう。
開催日：3月25日（日）
申込締切：3月20日（火）
申込方法：ハガキ又は電話

●不動穴ケイピング

観光化されていない洞窟への探検。
開催日：4月1日（日）
対象：10人（中学生以上）
ケイピング入門者
申込締切：3月25日（日）
申込方法：往復ハガキ

●アートフラワー講習会

平尾台の野の花を布切れと針金で作ります。
開催日：4月6日（金）
対象：10人（一般）
申込締切：3月30日（金）
申込方法：往復ハガキ

●ピナクルオリエンテーリング

ユニークな姿をしたピナクルを探し当てるハイキング。
開催日：4月22日（日）
対象：30人（小学生以上）
申込締切：4月15日（日）
申込方法：往復ハガキ

～お詫びと訂正～

2月号で「アニマルトレッキング」とありましたが、「アニマルトラッキング」の誤りです。お詫びして訂正いたします。

平尾台の洞窟

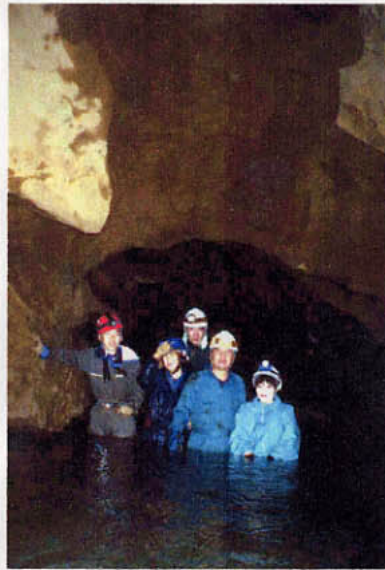
平尾台の観光化されていない洞窟を、シリーズでご紹介します。

第1回【不動洞】



洞口標高：270.18m 総延長：1083m
高度差：35m
分類：横穴、集合型（支道が多い）、流出型

平尾台で最大規模に発達した鍾乳洞。千仏洞より約500m南方。洞口より流出する大量の水は「不動滝」をつくり小波瀬川に合流する。洞口と洞奥では水に浸かって進み、深いところでは、胸のあたりまでくる。途中で二層構造になり上下層とも、二次性成物が良く発達している。ペンダント、ポケット、ブリッジ、キャビティ、ノッチ、スコラップ、地下湖、「俵石？」などが見られる。



ご注意!

観光化されていない洞窟に入るには、経験者のガイドが必要です。

【平尾台を彩る花々】



シャガ（あやめ科）

湿った林下の地に大群をなしてはえる常緑多年生草本。高さ50～60cm。名はヒオウギの漢名、射干からとったもの。



タチツボスミレ（すみれ科）

日本に分布する多年草。地上茎は花後20cmほどになるが、花期には短く目立たないこともある。



ヒトリシズカ（せんりょう科）

浅い山の林内にはえている多年生草本。高さ15～30cm。茎は直立して節が3～4個ある。名は花穂が1本なのでついた。同属に花穂が2本のフタリシズカがある。



フデリンドウ（りんどう科）

日本全土をはじめ東アジアの温帯に広く分布する多年草。茎は直立し高さ6～9cm。名は茎頂につく花の状態が筆の穂を思わせる為。

<原色世界植物大図鑑（北隆館）参照>

◆第2回「私の平尾台」ご応募ありがとうございました◆

第2回「私の平尾台」展は2月をもちまして、終了させていただきました。こちらの予想を上回るたくさんのご応募を頂きありがとうございました。



今年度も秋ごろに「私の平尾台」展を予定しています。皆様のご応募をお待ちしております。



出展者の皆さん（順不同）

久木田 彩さん 久木田 結さん
梶原 和美さん 柏木 恵美子さん
明田 信行さん 武石 奨さん
河野 宏一さん 伊藤 学さん
小方 一男さん 早川 由香里さん
山田 真弓さん 新粥 ひろ子さん
月森 義一さん
北九州サニーホームの皆さん
明彩会の皆さん
新道寺小学校5年生の皆さん

《平尾台マメ知識》

Q：秋吉台の石は尖っているのに平尾台の石が丸いのはなぜ？

A：それは平尾台の石灰岩が1度マグマの熱で溶かされて（熱変成）再結晶化しているため、粒子が粗くポロポロと崩れやすくなっているからです。この時石灰岩の中にあつた化石も焼失してしまいました。ちなみに秋吉台の石灰岩はそういう影響を受けていないので、粒子が細かく（崩れにくい）化石も残っています。

バトロールだより

黒々とした野焼き後のフィールドを走っていると、今まで見えなかった物が目にとまります。それはゴミです。空き缶、ペットボトル、煙草の吸殻、弁当の食べかす・・・マナーは守って欲しいものですね。

☆イベント情報☆

●平尾台スタンプラリー
平尾台に関するクイズを解いて回るハイキングゲーム。

開催日：5月3日（木）

対象：50人（一般）

申込締切：4月26日（木）

申込方法：往復ハガキ

●目白洞ケイビング

観光化されていない部分への探検。

開催日：5月5日（土）

対象：10人（中学生以上）

ケイビング経験者

申込締切：4月29日（土）

申込方法：往復ハガキ

●アートフラワー講習会

平尾台の野の花を布切れと針金で作ります。

開催日：5月11日（金）

対象：10人（一般）

申込締切：5月4日（金）

申込方法：往復ハガキ

●“今日の平尾台”撮影・展示会

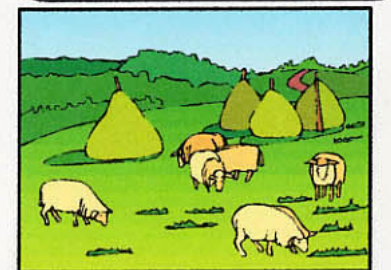
平尾台の風景、動物、植物、岩等を撮影し展示をします。

開催日：5月20日（日）

対象：30人（一般）

申込締切：5月13日（日）

申込方法：往復ハガキ



平尾台の洞窟

平尾台の観光化されていない洞窟を、シリーズでご紹介します。

第2回【目白洞】 *観光化されていない最奥の地下滝まで

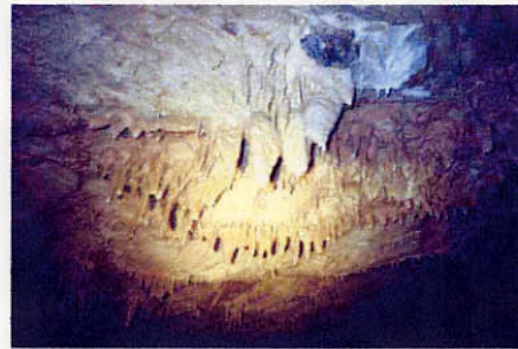


洞口標高：424.04m 総延長：1537+ α m
高度差：70+ α m
分類：集合型、曲流型、構造支配型横穴

平尾台最長の鍾乳洞。観光洞の一つであるが、観光化されているのは洞口から130m。最奥の地下滝に行くには入洞許可書、経験者のガイド、装備が必要。

二次成生物が良く発達している。鍾乳洞の特徴であるストロー（管状鍾乳石）、つらら石、石筍、石柱、ベーコンが多く見られる。

<平尾台の石灰洞（日本洞窟学会）参照>



ご注意!

観光化されていない洞窟に入るには、経験者のガイドが必要です。

とかくじ まつえ 《等覚寺の松会》～京都郡苅田町～



平成13年4月15日（日）、白山多賀神社で等覚寺の松会が行われました。千年の歴史があるこの祭礼は国の重要無形民俗文化財（平成10年12月）に指定されています。

良く晴れた午後に神社に行くと人、人、人。多くの方々がこの祭りを楽しみに集まっていました。神社に到着した時は流鏝馬が終わったところでした。この後、田打ち・田植え・鉞舞等が行われ、いよいよクライマックスの幣切りです。



高さ約10mの松の柱に施主「盛一騰（もれいちろう）」が登っていきます。頂上で祈願文を読み、両手を交差させ天下泰平、五穀豊穰を祈ります。最後に大刀で御幣の竹串を切り落とし、一斉に拍手が沸きました。

【平尾台を彩る花々】



カノコソウ（おみなえし科）
やや湿った草地にはえるやや珍しい多年草。茎は直立し高さ30～80cm。日本名は花序についたつぼみの色と感じが桃色のかのこ紋りに見えることから。



シラン（らん科）

湿原又は崖上等に自生する。（観賞用にも植えている）葉（長楕円形）の長さ20～30cm。日本名は紫蘭の意味でその花色による。

<原色世界植物大図鑑（北隆館）参照>



ジャケツイバラ（まめ科）
つる性の落葉低木。初夏の頃左右相対称形の黄色花をつける。日本名（蛇結イバラ）は茎がつる性で曲がりくねっていて蛇がとぐろを巻いたようであることから。



フモトスマレ（すみれ科）

日当たりの良い丘陵の草地にはえる。高さ4～6cm。日本名（麓スマレ）は本種がしばしば山麓地に生えているので名づけた。

《春の訪れ》

野焼きが終わり黒かった台地も草花が芽吹き始め、緑の草原に姿を変えてきました。



耳を澄ますと「パチパチ、プチプチ」という音が聞こえてくる。えっ？何の音？音を追ってみると、途中まで焼けたスキヤキや枯れた草のあたりから聞こえる。「草がのびる音？」「えっ植物は音をたてて成長するの??？」

☆イベント情報☆

●アートフラワー講習会

平尾台の野の花を布切れと針金で作ります。
開催日：6月1日（金）
対象：10人（一般）
申込締切：5月25日（金）
申込方法：往復ハガキ

●あの赤い星は何？

火星、さそり座アンタレスを見つけよう。夏の大三角形をおぼえよう。
開催日：6月22日（金）
対象：30人（一般）
申込締切：6月15日（金）
申込方法：往復ハガキ

「平尾台クリーン大作戦！」開催

4月8日（日）「平尾台クリーン大作戦！」が開催されました。当初は3月25日を予定していましたが、雨天の為順延になりました。順延にもかかわらず、地元・一般のボランティア・企業、約170の方が参加していただきました。ゴミの多さに皆さんびっくり！ゴミのポイ捨てを止め自然を大切にしましょう。



パトロールだより

窓を開けてパトロール車を走らせていると、心地よい風が吹き込んでくる。ふと、外に目を移すと野焼きで黒かった台地が、緑色に変わり始めている。さあ、青葉の季節がやってきた。

石のひつじ だより

【平尾台を彩る花々】

平尾台の洞窟

平尾台の観光化されていない洞窟を、シリーズでご紹介します。

第3回【ばくち穴】

洞口標高：339m 総延長：64m

高度差：9m

分類：流入、集合型横穴

ウバーレ（川ドリーネの中）の底に3つの穴があり、その中の一つが「ばくち穴」。

伝説では「無法松が仲間を連れて、そこで賭博を開いた」と言われている。

ばくち穴に入ってすぐは、砂が溜まっていて、床が平らになっている。そこがちょうど、隠れて賭博を開くのに使われたのではないかと推測される。そこからそんな伝説が生まれたのだろうか？



洞口

ご注意！

観光化されていない洞窟に入るには、経験者のガイドが必要です。



ここで賭博が開かれた？



変わった形の二次生成物。苔がっら石を？



ドクダミ（どくだみ科）

どこにでもはえている多年生草本で、草全体に独特の悪臭がある。高さ15～35cm。日本名の「ドクダミ」は毒痛みの意味だと言われている。



ノハナショウブ（あやめ科）

ハナショウブ原種で多年生草本で野原に自生する。高さ60～120cm。日本名「野花菖蒲」は野生のハナショウブの意味。



クララ（まめ科）

山野に普通に見られる多年生草本。高さ60～90cm。初夏に茎の頂きまたは枝先から総状花序を出し、多数の淡黄色の蝶形花をつける。日本名クララは眩草が省略されたもの。根汁が目眩むほど苦いということから。



ヌマトラノオ（さくらそう科）

湿地や流れのほとりにはえる多年草。地中に長く地下茎をのばして繁殖し、普通群をなしてはえる。高さ40～70cm。茎の頂きに直立した総状花序を作り、多数の小さな花を密につける。



ユキノシタ（ゆきのした科）

半常緑多年生草本で、湿った地上や岩上に自生する。高さ20～50cm。5～7月に茎の上部に多数の白花が円すい花序となって開く。日本名は白い花を雪にたとえ、その下に葉がちらちら見える様子を表現しているのだろう。

【平尾台マメ知識】

小倉を舞台とした小説『無法松の一生』（岩下俊作著）に平尾台が描かれています。小説では「広野」という地名が出てきます。

無法松こと松五郎の回想で7歳の時、継母といさかいを起こして家出をします。そして軍隊に納める馬の飼料を平尾台に買いに行った父親に会いに行く、というくだりがあります。その一部を紹介します。

「・暗い立ち木の山道を登りつめると立ち木の一本もないススキのいっばいはえた坊主山のほりに出た。（中略）山の上は広い草っ原だ。そして左手にも右手にも丸い草山があつて・・・」

小説には明治30年から大正8年までの22年間、48歳で松五郎が亡くなるまでの武勇伝と未亡人への淡い思慕が描かれています。

バトロールだより

春から初夏に移り変わるにつれ、いろいろな花々が咲き始めています。

その花をのんびり摘んで帰る人がいますが、平尾台は国立公園です。特別保護地区での植物採取は禁止されています。ご協力をお願いします。

☆イベント情報☆

●月食観察会

茶ヶ床園地で部分月食を観察します。

開催日：7月5日（木）

対象：なし

申込締切：6月28日（木）

申込方法：往復ハガキ

●アートフラワー講習会

平尾台の野の花を布切れと針金で作ります。

開催日：7月6日（金）

対象：10人（一般）

申込締切：6月29日（金）

申込方法：往復ハガキ

●平尾台3分映像大会

撮影したものを3分以内に編集。展示室に展示します。

開催日：7月28日（土）

対象：30人（一般）

申込締切：7月21日（土）

申込方法：往復ハガキ

石のひっこじ だより

NO. 12 平成13年 7月号
〒803-0186 福岡県北九州市小倉南区新道寺 3092-2
TEL093-453-3737 FAX093-452-3739
ホームページアドレス <http://www.hiraodai.co.jp>
〈開館時間〉9:00～17:00
〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌日）

平尾台の洞窟

平尾台の観光化されていない洞窟を、シリーズでご紹介します。

第4回【藤戸洞】



洞内から洞口を写す。

洞口標高：454m 総延長：55m
高度差：11m
分類：流入型斜洞

岩壁の中腹に洞口がある。中に入るとまわりの白さに目をみはる。泥で汚れていなくてきれいなのだ。（しかし壁面に落書きがされている！なんとも残念！）天井が高いので息苦しさを感じない。藤戸洞はかなり古い時期に形成された洞窟だと言われている。しかし二次生成物は風化こそしているがきれいに残っている。

＜平尾台の石灰洞（日本洞窟学会）参照＞

ご注意！
観光化されていない洞窟に入るには、経験者のガイドが必要です。



■平尾台レトロ展■

4月から開催していました「平尾台レトロ展」も5月をもちまして終了いたしました。ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。



《出展者の皆さん》

- 荒木 猛夫さん
 - 有松 和男さん
 - 香山 義憲さん
 - 蟻川 智恵子さん
 - 山本 公一さん
 - 大島 康雄さん
- （順不同）



旧丸和ランド、バス、髪型、ファッション・・・少し前の平尾台にタイムスリップした2ヶ月間でした。

【平尾台を彩る花々】



キキョウ（ききょう科）
日当たりのよい山地、原野の乾いた所を好む多年草。茎の高さは1m以上になる。夏に枝上部に青紫色の鐘形5裂の美花を開く。日本名の「キキョウ」は漢名「桔梗」の音読み。



コオニユリ（ゆり科）
日当たりよく適湿の山地にはえる多年生草本。オニユリと似ているが葉が狭く茎に紫点がない等で見分ける。高さ1～1.5m。「鬼百合」は粗大なユリという意味で、これは「小鬼百合」という。



ネムノキ（まめ科）
二次林にはえる落葉高木で高さ6～9mになる。夏に小枝の頂から花柄を出し、散形状に紅色の花をつけ、日没前に開花する。日本名の「ネムノキ」は小葉が夜間は閉じて睡眠する為。



モウセンゴケ（もうせんごけ科）
山野や野原の日の当たる湿地にはえる食虫植物の多年生草木。葉面に粘着質の腺毛があり、ここから分泌液を出し虫を消化する。日本名の「毛氈苔」は一面の毛を毛織の毛氈に見立てた。コケは小型である為ついた。

＜新訂牧野新日本植物圖鑑（北隆館）参照＞

【平尾台マメ知識】

平尾台はカルスト台地独特の周囲が切り立った地形が幸いし、想像より遠くまで見渡せます（気象条件によってかわります）。下記の表は貫山の三角点上空から見たものの一部です。
*方位は真北（子午線の北）から右回りの水平角です。

山名	標高m	距離km	方位(度)
石鎚山	1982	204	89.8
鶴見岳	1375	73	138.4
由布岳	1583	71	140.9
久住山	1787	83	158.2
中岳	1506	101	170
対馬	649	162	286.3

ハトロールだより

緑の中に一際目立つ赤い色。
四方台の斜面にヤマツツジが赤い絨毯のように咲き誇っている。
台下のツツジは終わったが平尾台上では今が盛りだ。

（6月12日）

☆イベント情報☆

●アートフラワー講習会
平尾台の野の花を布切れと針金で作ります。

開催日：8月3日（金）
対象：10人（一般）
申込締切：7月27日（金）
申込方法：往復ハガキ

●平尾台謎の冒険

行き先不明、テーマ不明の冒険ハイキング。

開催日：8月11日（土）
対象：50人（中学生以上）
申込締切：8月4日（土）
申込方法：往復ハガキ

●流星観察会

茶ヶ床園地に寝転がって流星群を数えましょう。

開催日：8月18日（土）
対象：30人（高校生以下保護者同伴）
申込締切：8月11日（土）
申込方法：往復ハガキ

●平尾台水のしくみ

平尾台に降った雨の通り道をたどります。

開催日：8月19日（日）
対象：40人（小学4年生以上）
申込締切：8月11日（土）
申込方法：往復ハガキ

●平尾台スケッチ大会

平尾台のお気に入りの場所を写生します。希望作品は展示します。

開催日：8月25日（土）
対象：100人
申込締切：8月18日（土）
申込方法：往復ハガキ

石のひっじ だより

平尾台の洞窟

平尾台の観光化されていない洞窟を、シリーズでご紹介します。

第5回【大穴の風穴】



洞口

洞口標高：507m 総延長：13m
高度差：7m
分類：横穴

ご注意!

観光化されていない洞窟に入るには、経験者のガイドが必要です。

洞口がわかりにくい所にある為、見つけにくい。苦労して見つけた割には洞窟の規模は小さい。あまり期待せずに中に入ったが、二次生成物が良く発達してきれいだ。わかりにくさが幸いし落書きや盗掘がほとんどなく非常に美しい。床部は流入した土砂が急勾配になっていてすべりやすい。内部全体にカーテン・フローストーンが見られる。

〈平尾台の石灰洞（日本洞窟学会）参照〉



《お知らせ》

★石灰岩（ピナクル）に名前を付けよう!

平尾台にはユニークな形をした石灰岩（ピナクル）がたくさんあります。気に入ったピナクルに名前を付け、写真と地図に位置を書いて応募してください。平尾台ピナクルマップとしてまとめ、1階展示室に展示します。

募集期間：7月20日～8月31日

展示期間：9月1日～9月30日

※地図はセンターに用意しています。

※写真は返送いたしませんのでご了承ください。

★「私の平尾台」作品募集

平尾台に関する写真、俳句、短歌、絵画、自由研究、工作などを募集します。応募作品は1階ロビー、展示室に展示します。

募集期間：8月1日～9月30日

展示期間：10月1日～10月31日

※一人の方の出展数が多い場合は、こちらで任意に展示数を決めさせていただきます。

※作品には住所、氏名、年齢、電話番号、題名を付けて応募してください。

【平尾台を彩る花々】



オミナエシ（おみなえし科）

日当りの良い山野にはえる多年草で、株側から新苗が分かれて繁殖する。高さ約1m。晩夏から秋にかけて茎上部で分枝し、黄色い細花をその先に多数つけて散房状になる。オトコエシに対して優しいので女性にたとえていう。



キセワタ（しそ科）

山野や丘陵地の草原にはえる多年草。高さ60～90cm。8～9月頃、上部の葉腋に淡紅色の唇形花を数個ずつ群がって数段つける。日本名は着せ綿の意味で、花冠の上に白毛があるからだろうか。



センニンソウ（きんぼうげ科）

山野、路傍など日なたの土地にはえる多年生、草質のつる。夏の終わりから初秋にかけて、茎頂または葉腋に集散花序を出し、多数の白色の花が群がってつく。日本名「仙人草」の意味は今はまだわかっていない。



ノアズキ（まめ科）

山野にはえる多年生のつる状草本。茎は細い針金状のつるになって長く伸び他の草本に絡み付いて繁茂する。夏に葉腋から花軸を出し、少数の黄色の蝶形花をつける。「野小豆」は葉片がアズキに似ているため。

〈新訂牧野新日本植物圖鑑（北隆館）参照〉

【平尾台マメ知識】

平尾台は日本のパラグライダー発祥の地。平尾台で小林氏が、手製のパラグライダーで飛行したのが昭和58年。以来日本各地にパラグライダー愛好者が増え、飛行場も広がった。現在近隣の愛好者クラブが管理するパラグライダー基地が平尾台の東方にある桶ヶ辻（標高568.7m）にあり、気流の良い日には上空に色とりどりに乱舞している。



バトロールだより

梅雨の晴れ間にフィールドに出ると、強い日差しに照らされた、草原の緑が目にも染みる。コオニユリやヒオウギが咲き始めている。空には入道雲。本格的な夏がすぐそこまでやってくる。

（7月15日）

☆イベント情報☆

●アートフラワー講習会

平尾台の野の花を布切れと針金で作ります。

開催日：9月7日（金）

対象：10人（一般）

（材料費：2000円程度）

申込締切：8月31日（金）

申込方法：往復ハガキ

●広谷湿原観察会

成因や植生、存続上の課題を観察・勉強する。

開催日：9月8日（土）

対象：一般30人

申込締切：8月31日（金）

申込方法：往復ハガキ

●平尾台野草観察ツアー

秋の野草をたずねるハイキングです。

開催日：9月16日（日）

対象：一般30人

申込締切：9月9日（日）

申込方法：往復ハガキ

☆ツバメの巣立ち☆



昨年センターにツバメが巣を作っています。今年は5羽の雛がかえりました。親鳥はひっきりなしに餌を運んできます。



雛たちは大きな口を開けて我先にと餌をねだっています。6月30日、巣の中が空っぽです。朝までいたはずの雛たちがいません。あっという間の巣立ちでした。

石のひっじ だより

平尾台の洞窟

平尾台の観光化されていない洞窟を、シリーズでご紹介します。

第6回【青龍窟～ナウマン支洞】



青龍窟西口・外部より



青龍窟西口・内部より

洞口標高：408m 総延長：1525+ α m
高度差：55+ α m
分類：流入、流出、曲流、集合型横穴

曲流現象で有名な青龍窟。たくさんの支洞があり、迷路状になっている。その中の一つが“ナウマン支洞”。ここからはたくさんの動物の化石が見つかる。支洞に入ると水がなくなり、入口近くなると蒸し暑くなる。しかし泥だらけで出てきた後、滝にあたると、また格別！



曲流



ナウマン支洞入口



支洞

ご注意！
観光化されていない洞窟に入るには、経験者のガイドが必要です。

《第8回平尾台夏の高原ピクニックコンサート》



7月20日（金）センターの横にあるドリーネで、毎年恒例になっている「夏の高原ピクニックコンサート」が開かれました。天候に恵まれ、たくさんの人で賑わいました。平尾台太鼓からトロンボーン四重奏まで約2時間。夏の夜のひと時でした。



平尾台太鼓

【平尾台を彩る花々】



ゲンノショウコ（ふうろそう科）

野外に生える多年生草本。夏に枝先に2～3個の花をつける。5弁花で梅の花に似ている。日本名「現の証拠」は飲むとすぐ効果が現れることから。



ナンパンギセル（はまうつぼ科）

草地にはえる一年生の寄生植物で、ススキ、ミョウガ、サトウキビなどの根に寄生する。秋に葉の腋から長い花柄を直立し、頂きに淡紫色の花をつける。日本名「南蛮煙管」は全形がタバコのパイプに似ているから。



メハジキ（しそ科）

野原や道ばたにはえる二年草。茎は四角形で直立し、高さ50～100cm。夏から秋にかけて枝先の葉の腋に淡紅紫色の唇形花を数個づつ段状につける。日本名「目弾き」で子供が茎を短く切り、まぶたに貼りつけて目を開かせて遊ぶのでいう。



ツルリンドウ（りんどう科）

山地の木陰にはえる多年草。茎は細長く地をはい、または他物にまつわり長さは30～60cmになる。秋に葉腋に淡紫色の花をつける。花冠は鐘状で5裂し、裂片の間に小さい副裂片がある。



サワギキョウ（ききょう科）

温帯の湿地に群生する多年草で、花を除いて全体に毛がない。夏から秋にかけて茎上部に総状花序を作る。5裂の花冠は鮮やかな紫色で、長さが約3cm。唇形となる。

＜新訂牧野新日本植物圖鑑（北隆館）参照＞

【平尾台マメ知識】

夏になり平尾台にもトンボの姿をよく見かけるようになりました。では、平尾台に生息する日本一小さいトンボは何でしょう？それは「ハッチョウトンボ」です。「ハッチョウトンボ」はとても小さく羽の長さ15ミリ、胴の長さ2cmほどです。日当たりの良い湿地に生息しています。成熟した雄はとても鮮やかな赤色をして目立ちますが、雌と成熟していない雄は黄色に黒の縞模様の地味な姿をしています。さて、見つけることが出来るでしょうか？

バトロールだより

猛暑が続く中でも、広谷湿原には何人かの散策者の姿を見かけます。暑い中でも、やはり水があると涼しく感じる為でしょうか。しかし自然保護のため、むやみに湿原の中に入らないようにしましょう。

（8月21日）

☆イベント情報☆

●アートフラワー講習会

平尾台の野の花を布切れと針金で作ります。

開催日：10月5日（金）

対象：10人（一般）

（材料費：2000円程度）

申込締切：9月28日（金）

申込方法：往復ハガキ

●平尾台三観光洞ツアー

平尾台の観光鍾乳洞をまとめて紹介。

開催日：10月13日（土）

対象：一般100人

（高校生以上900円、小中学生600円）

申込締切：10月3日（水）

申込方法：往復ハガキ

●石灰岩鉱山見学

大阪住友セメントの石灰岩鉱山見学会。

開催日：10月21日（日）

対象：一般50人

申込締切：10月14日（日）

申込方法：往復ハガキ

石のひつじ だより

NO. 15 平成13年 10月号

〒803-0186 福岡県北九州市小倉南区新道寺3092-2

TEL093-453-3737

FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.co.jp>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

平尾台の洞窟

平尾台の観光化されていない洞窟を、シリーズでご紹介します。

第7回【ドレミ洞】♪



♪ 入口

洞口標高：398m 総延長：10+ α m
高度差：2+ α m
分類：流入、横穴

平尾台には、200を超える洞窟があります。そのうちでも一番最近発見された洞窟がこれ。発見者の一人にちなんで命名されました。平尾台でも重要な目白-千仏-不動を結ぶ線の上に位置します。道路のすぐ近くにあったのに、今まで隠れていた(?)なんて不思議ですね。平尾台には私たちの知らない洞窟が、まだまだたくさんありそうですね。



♪ 内部

#

ご注意!

観光化されていない洞窟に入るには、経験者のガイドが必要です。

【平尾台を彩る花々】



ウメバチソウ (ゆきのした科)

山の麓や高山の日の当る所にはえる多年生草本。高さ10～40cm。夏秋の頃に梅の花に似た白い花をつける。日本名「梅鉢草」は花の形が梅鉢の紋に似ているので言う。



ヒメヒゴタイ (きく科)

日当りの良い山地草原にはえる大形の多年草。茎は直立し高さ約120cm。秋に茎の上部で多数の紫色の頭花を密集して大形の散房花序状につける。日本名「姫ヒゴタイ」はヒゴタイに比べて小形であるから。



センブリ (りんどう科)

日当りの良い草地に多い二年草。茎は直立して分枝し高さ20～25cm。秋に枝先及び葉腋に円錐花序をなして多くの花を開く。花は白色で紫色の条線がある。日本名「千振」は煎じて千回振り出しても苦味が残るという意味。



リンドウ (りんどう科)

山野に普通に見られる多年草。大きいものでは高さ60cmになる。秋に茎の頂きまたは上部の葉腋に紫色の花を開き、茎頂の物は5～6個固まって咲く。リンドウの名は「竜胆」に由来する。

<新訂牧野新日本植物圖鑑(北隆館)参照>

【平尾台マメ知識】

Q:「帰化植物」って何ですか?平尾台にもたくさんあるのですか?

A:人間の活動に伴って、外来の植物が自生していなかった国へ入り込み、野生状態で繁殖している植物のことです。平尾台で有名なのはセイタカアワダチソウ(北米産)です。他にはオオイヌノフグリ、オオオナモミ、ニワゼキショウ(以上北米産)、シロツメクサ、セイヨウタンポポ(以上欧州産)などがあります。

バトロールだより

あんなに暑かった平尾台もあっという間に秋の気配です。ススキの穂もちらほら目に付き始めました。親子連れ、歩こう会、散策者の姿も多くなりました。皆さんがマナーを守って、いつまでもきれいな平尾台でありたいですね。

(9月21日)

【夏休み企画“トンボ写真展”終了】



7/24～9/2、センターの1F展示室とロビーで平尾台周辺で撮影された“トンボ写真展”を開催しました。「平尾台にこんなにたくさんの種類のトンボがいるの?」と驚きました。

夏休みで来館されたお子さんたちにとっても好評でした。なかには童謡「トンボのメガネ」を歌い出す子も・・・



☆イベント情報☆

●アートフラワー講習会

平尾台の野の花を布切れと針金で作ります。

開催日：11月3日(土)

対象：10人(一般)

(材料費：2000円程度)

申込締切：10月27日(土)

申込方法：往復ハガキ

●平尾台歴史探訪会

平尾台の石碑、道祖神、祠などを巡り歩くハイキング。

開催日：11月11日(日)

対象：50人(小学校5年生以上)

申込締切：11月4日(日)

申込方法：往復ハガキ

●平尾台流れ星鑑賞会

しし座流星群、冬の星座を觀賞しましょう。

開催日：11月17日(土)

対象：一般30人(高校生以下保護者同伴)

申込締切：11月10日(土)

申込方法：往復ハガキ

●平尾台カードをパソコンで作ろう!

デジカメで平尾台を撮影し、ポストカードを作ろう。

開催日：11月23日(金)

対象：一般10人

申込締切：11月16日(金)

申込方法：往復ハガキ

※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。



平尾台の洞窟

平尾台の観光化されていない洞窟を、シリーズでご紹介します。

第9回【平尾台観光ホテル横のタテ穴】



洞口標高：428m 総延長：25m
高度差：20+ α m
分類：竖穴

旧丸和ランドラグビー練習場にある水道タンクの東南東100mに毘沙門天などを祭った430mの小山がある。その小山のピーク南部にあるピナクルの間に1.5×3m程度で開口。洞内は風化しているが、フローストーンなど鍾乳石が発達している。洞底に投げ込まれた空き缶、ビンなどのゴミが堆積している。

☆イベント報告「平尾台三観光洞ツアー」☆

平成13年10月13日に「平尾台三観光洞ツアー」を開催しました。それぞれ特徴のある鍾乳洞を見比べることによって、平尾台の地形、自然の神秘を感じよう！ということで開催されました。



目白洞



牡鹿洞

牡鹿洞の特徴は竖穴。下まで行くと空気はひんやりして、大きかった空も小さく見えます。目白洞は二次生成物の宝庫。観光化されているところだけでも、たくさんつらら石、石筍、石柱などが見られます。

最後は千仏洞です。ここの特徴はやはり途中から水の中にじゃぶじゃぶ入ることでしょう。しかし水の冷たさに慣れるまでが・・・最後は照明のない奥まで行き真の暗闇を体験しました。秋晴れの日の楽しい1日でした。



千仏洞

ご注意!

観光化されていない洞窟に入るには、経験者のガイドが必要です。

1960年代既に知られていたが、「平尾台の石灰洞」(1982年発行)当時は、幻の鍾乳洞とされていた。当センターによって平成13年4月に場所と名前を特定を行った。形状から「平尾台の石灰洞」に記述されている、マルワランドの穴第一のことで埋没を免れている。同書は名称と位置を誤っていると推定される。

【平尾台を彩る花々】



ムラサキセンブリ (りんどう科)
日当りの良い草地にはえる二年草。高さ15～30cm。10月頃茎頂および葉腋に濃青紫の花を円すい状につけ、上から順次を開く。日本名「紫センブリ」は花の色に基づく。



サラシナショウマ (きんぼうげ科)
山地の樹の下、または山中の草地などにはえる多年生草本。高さ1m。茎頂に長い花茎を出し、単一あるいはまばらに分枝した花軸に密に白い花をつける。日本名「晒菜升麻」は若い葉を晒し、味を付けて食べることから。



イヌセンブリ (りんどう科)
原野の湿地にはえる二年草。高さ10～35cm。秋に茎頂及び枝の先に白色で淡紫色の条のある花をつける。日本名「犬センブリ」はセンブリに似ているが、根に苦味がないことから。すべてイヌが付くものは本物でないときに用いられる。



ジンジソウ (ゆきのした科)
谷間にはえる軟らかい多年生草本。秋の終わり頃10～30cmの花茎を出し円すい花序となって白い花をつける。日本名「人字草」は花の上3弁と下の2弁（片方がかすかに短い）が「人」という字に見えることから。



シマカンギク (きく科)
日当りの良い山ろくなどに普通にはえる多年草。地下茎は横にはい、茎の高さ30～60cm。秋に黄色の頭花をほぼ散房状につけ、頭花は径約2cm。周辺に一系列の舌状花があり、中心に多数の管状花がある。

<新訂牧野新日本植物図鑑(北隆館)参照>

【平尾台マメ知識】

《自然観察指導員》

正式名称は「(財)日本自然保護協会・自然観察指導員またはNACS-J自然観察指導員」といいます。自然観察をはじめとする野外活動のボランティア指導者として活動し、地域の自然保護思想の普及の核となり、自然のしくみを理解し自然を大切に思う仲間づくりを進めるため日本自然保護協会が開催する自然観察指導員講習会を全課程を終了し、(財)日本自然保護協会に登録した人をいいます。約1万人が登録、活躍しています。

バトロールだより

今年も来年の野焼きのための防火帯作りが始まりました。これから11月まで続きます。ついこの間野焼きが終わったと思っていたのが、あっという間に来年の野焼きの準備です。1年が過ぎるのをとても早く感じる今日この頃です。

(10月21日)

☆イベント情報☆

●アースアート教室

ツルや落ち葉などを使ってクリスマスやお正月の飾りを作ります。

開催日：12月1日(土)

対象：10人

(材料費：2000円程度)

申込締切：11月24日(土)

申込方法：往復ハガキ

●アートフラワー講習会

平尾台の野の花を布切れと針金で作ります。

開催日：12月7日(金)

対象：10人(一般)

(材料費：2000円程度)

申込締切：11月30日(金)

申込方法：往復ハガキ

※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。



石のひっじ だより

NO. 17 平成13年 12月号

〒803-0186 福岡県北九州市小倉南区新道寺3092-2

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.co.jp>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

平尾台の洞窟

平尾台の観光化されていない洞窟を、シリーズでご紹介します。

第10回【旧丸和ランドの穴第2周辺】



旧丸和ランドの穴第2

【旧丸和ランドの穴第2】
洞口標高：407m 総延長：14m
高度差：9m
分類：流入、竪穴

【旧丸和ランドの穴第2】

洞壁は乾燥したフローストーンが大部分を覆っている。洞底は落盤による角礫が散乱し、最奥部に水流により運ばれた土砂が堆積している。現在洞内は乾燥しているが、洞壁には+2.5mまで木の枝等が付着しているのでプールであった事を示している。

(「平尾台の石灰洞」(日本洞窟学会)参照)



はる穴

【はる穴横の陥没孔】

はる穴の底部にある横穴に通じていると考えられる竪穴。ここ最近発生したもので、拡大しつつある。



はる穴横の陥没孔

【平尾台から見える風景】

☆大平山山頂☆

センターから県道28号線を通って吹上峠まで約1km。大平山の登山口に到着。九州自然遊歩道をジグザグに登って行きます。



標高586.5mの山頂から眺める羊群原は下から見るのとは又違った趣があります。反対側は井手浦の家々が展望できます。晴れた日はとても気持ちの良い眺めです。



【平尾台文化体育祭】

平成13年11月18日(日)に平尾分校で文化体育祭が開かれました。午前中は文化祭、午後は体育祭が行なわれていました。

入口テント内ではそば粉100%のソバやおでんが振舞われました。



また体育館と特別教室に地元の方のアートフラワー、写真、絵画、分校の生徒作品等が飾られ、たくさんの方々が見学に訪れていました。



【平尾台マメ知識】

《自然公園指導員》

国立、国定公園を保護し、その利用の適正化、特に動植物の保護、自然環境の美化清掃、事故の予防について、利用者等の指導を行い、あわせて適切な情報を収集し、もって、自然公園の目的たる国民の保健、休養及び教化に寄与すると共に自然環境の保全に資するため自然保護局長が適任者をボランティアとして委嘱する。昭和32年に発足し、平成7年度は約3,000人が活躍している。

バトロールだより

冬の足音が聞こえ出し、各地から紅葉の便りが届いています。ここ平尾台は草原で紅葉がないように思われますが、ドリーネの中に樹木、県道沿いの銀杏の葉が色付いてきています。

(11月17日)

☆イベント情報☆

●アートフラワー講習会

平尾台の野の花を布切れと針金で作ります。

開催日：1月11日(金)

対象：10人(一般)

(材料費：2000円程度)

申込締切：1月7日(月)

申込方法：往復ハガキ

●平尾台ガイド講座

GPSと地図ソフトの使い方講習会。

開催日：1月20日(日)

対象：20人(一般)

申込締切：1月13日(日)

申込方法：往復ハガキ

●民話をきく会

平尾台地区の昔から伝わる民話をきこう。

開催日：1月27日(日)

対象：100人(一般)

申込締切：1月20日(日)

申込方法：往復ハガキ

※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

【ふたご座流星群】

今年のしし座流星群はすごかった！でも、残念ながら見逃してしまった方、まだ12月の“ふたご座流星群”が残っています。ふたご座流星群はしし座流星群のように大出現とはいきませんが、毎年コンスタントに流星が見られることで有名です。極大日は13日頃です(その年によって多少の誤差があります)。(注)センターのイベントではありません。